

共同記者会見

TNnet&2008G8 サミット NGO フォーラム(貧困・開発ユニット) & アフリカ NGO

アフリカ NGO・農民女性が洞爺湖 G8 サミットにもの申す

～主要議題「開発・アフリカ」・食料危機についての提言～

「第4回アフリカ開発会議」(TICAD IV) から洞爺湖サミットに向けて

5月28-30日に横浜で第4回TICADが開催されました。TICAD IVに向けて日本とアフリカの市民社会が密に協働した結果、TICAD 史上初めて市民社会セッションが公式プログラムとして設置されたほか、アフリカ市民社会代表が全体会議場で発表するなど、市民社会が大きな役割を果たしたことは広く報道された通りです。

TICAD IV 終了から1ヶ月が経ちましたが、北海道・洞爺湖で開催されるG8サミットの主要議題「開発・アフリカ」を意味あるものとするため、アフリカから3名のゲストが来日し、G8サミットに向けた記者会見を行います。

記者会見では、TICAD IV 本会議で代表スピーチを行ったアフリカ市民委員会議長、長らく東南中部アフリカで食料安全保障に取り組んできたアフリカ NGO 代表、アフリカ農民(女性)が、アフリカが直面する現状と洞爺湖サミットに向けた提言を披露します。今話題の食料危機とバイオ燃料の現状にもお答えします。参加申込みは事務局まで。

記

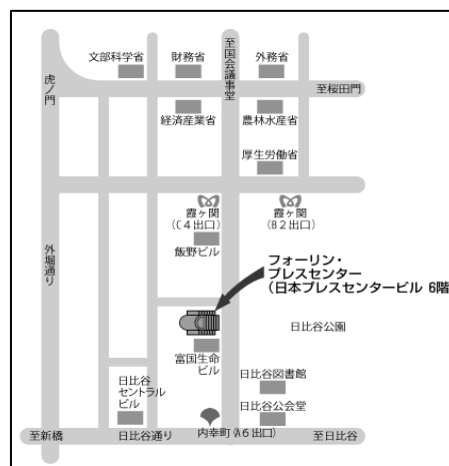
アフリカ NGO・農民来日記者会見

日時：2008年7月3日(木) 午後2時～3時(同時通訳あり)
*3～4時は自由にインタビュー可能です(逐次通訳あり)

場所：(財)フォーリン・プレス・センター記者会見室
千代田区内幸町2-2-1 日本プレスセンタービル6階
TEL：03-3501-3401 <http://fpcj.jp/>

アクセス：日比谷線 丸の内線・千代田線 霞ヶ関駅 C4
都営三田線内幸町駅 A6 出口

当日連絡先：090-1531-9802



■ 参加申し込みフォーム ■

※切：7月2日(水) 午後6時 下記にご送信の上、直接会場にお越しください。

Fax (03-5286-8261) / E-mail (nagashima@ticad-csf.net)

お名前：

ご所属：

連絡先：

来日するアフリカ人 NGO は以下の3名です。

- **ギユスターブ・アサー**：ベナン出身。アフリカ NGO によるネットワーク「アフリカ市民委員会：Civic Commission for Africa (C-CfA)」議長。4月末に開催された Civil G8 から1ヶ月間の日本での滞在を通じて、TICAD IV に向けてアフリカ市民社会の声を届けるための活動に尽力。TICAD IV 本会議だけでなく、地域準備会合(チュニス、リーブルヴィル)でも代表スピーチを行った。G8 サミットに向けて再来日、TICAD IV のフォローアップのあるべき姿を訴える。
- **ジョセフ・スーナ**：ウガンダ出身。アフリカ南東中部の200の農民団体ネットワーク(PELUM Association) 事務局長として活躍。食料安全保障のエキスパートとして、ローマで開催された食料サミットの準備会合にも参加(2008年5月末)。食料・バイオ燃料問題・農業協力についてG8に提言する。<http://www.pelumrd.org>
- **ジョイス・ムワンジェ**：ザンビア出身。環境団体に所属しながら7人の子どもを育ててきた。首都ルサカから450キロ離れたChibobo村でメイズやキャッサバ、じゃがいもなど育てる。ザンビアの肝玉母ちゃんがアフリカの農業の現状と未来を語る。

アフリカ市民委員会(C-CfA)とは：2007年4月発足。サハラ以南アフリカ19カ国の17の国別代表NGOと農民や女性、PLWHAなどアクター別NGO5団体、オブザーバー5NGOで構成される。アフリカの声を組織的・効果的に届けることを目指す。

http://www.ticad-csf.net/w-group/C-CfA/action/Leaflet_C-CfA.pdf